

## 来賓挨拶 I

### 国土交通省 都市局 まちづくり推進課 官民連携推進室長 中村 健一 氏

ただいまご紹介いただきました、国土交通省の中村です。全国エリアマネジメントネットワーク、設立後初の地方開催ということで、こんなにも盛大な場を設けていただきありがとうございます。これも一重に、全国エリアマネジメントネットワークの小林先生、それから保井先生、御手洗先生をはじめとする皆様方のご尽力、そして地元の、博多まちづくり推進協議会、We love 天神協議会の皆様のご尽力によるものと思っております、大変感謝しております。

先ほどもお話がありましたが、先週大きな陥没事故がございましたが、不幸中の幸いで人的被害はありませんでした。国土交通省といたしましても、大臣自らが福岡市長とご相談して、ご協力させていただく方向となっていると聞いておりますので、よろしく願いいたします。

私がこの全国エリアマネジメントネットワークのシンポジウムでお話させていただくのは三回目となります。最初は仙台でございまして、その際には東日本大震災への支援に対して御礼を申し上げた次第でございますが、今回は、熊本の地震に対しまして全国の皆様から温かいご支援をいただきましたことに、国土交通省としても御礼を申し上げたいと思います。

私は、官民連携推進室長とご紹介いただきましたが、最近は官と民との関係も非常に変わってきております。民間のエリアマネジメント、民間の担い手は、都市局としても非常に大事なことと考えております。これまでも、社会資本整備審議会の都市マネジメント小委員会などで議論を重ねてきましたが、この11月からもその担い手の検討会として更に議論を深めていくような施策、加速するような施策を検討していきたいと思っておりますので、皆様のお知恵をお借りしながら、国土交通省としても検討を進めていきたいと考えています。

お知恵をお借りしながらということではちょっと話は変わるのですが、エリアマネジメントネットワークとは別に私どもの主催する都市再生推進会議というのがあります。都市再生推進法人という制度は、法律に基づく仕組みで、色々と民間の皆様にご活動をしていただくものです。エリアマネジメントネットワークは、全国のエリアマネジメント団体の方が横のつながりをもって活動していただくことを目的としていると聞いておりますが、エリアマネジメントネットワークと都市再生法人会議お互いの両方の繋がりがより密になって、より積極的に連携を進めていくように、エリアマネジメントネットワークの事務局の皆さんともご相談をさせていただいているところであります。

今日は福岡ということで、先ほど仙台のお話をいたしました。今の仕事に来る前は仙台市役所に向向しておりました。その時に、仙台市も国家戦略特区の申請をするということになったので、福岡市の取り組みをよく勉強して仙台市も取り組みを進めようということになったのですが、その時に私も調べましたら、民間の皆さんがいっぱい入って議論が盛り上がっているということを目の当たりにしまして、福岡というところは官民連携というか、公民連携の先進地であろうと思ったところです。

また、今回も博多と天神の両協議会の皆さんと一緒にシンポジウムを開催するという、色々な立場の人が色々と集まってこうした取り組みを行なう、課題解決をしていくということが、やはりエリアマネジメントの目指すべき姿だと思っておりますので、非常に福岡の取り組みというのは私にとっても非常に参考になる取り組みと思っておりますので、今日明日は私も勉強させていただき、その成果を持ち帰りまして、施策立案に役立てていきたいと思っております。